



いつだって 必ず誰かが そばにいる!

被害者支援通信



共に生きるために



NPO法人あおもりいのちの電話理事長
公益社団法人あおもり被害者支援センター

石川 徹一

「自分に刺さった小指のとげは一瞬たりとも我慢できないが、他者のどんな大きな痛みにも容易に耐えることができる」というような意味の言葉を、少年のころ聞いたことを思い出しました。今回、この一文を依頼され、わたし自身の犯罪被害者に対するあり方の不誠実さを思い知らされ、今一度、事の重大さを噛みしめています。

自分が犯罪被害者の、加害者の当事者になるという可能性を、現実のこととして捉えていないことに改めて気づかされ、身のすくも思いです。設立時より被害者支援に関わらせていただきながら恥ずかしい限りです。犯罪支援活動の不徹底は、私自身を含めた多くの方々の犯罪に対しての想像力の欠如がもたらすものなのではないでしょうか。

今日的な、日本と世界の状況は、このような他者の痛みに対する無関心に鋭い警告を発していると思われます。犯罪被害のすべてに関して言えることですが、「わたしに限って！」の思いがその根底にあるように。日本だけに限らず、世界の出来事—イスラム国や沖縄基地問題、難民問題、戦争、等—あらゆる被害者、加害者の出来事は、自分の出来事になる可能性が、否、自分の出来事そのものであることを決して忘れてはならないのです。被害者支援とは、「自分が加害者になることのないように」という祈りでもあるように思います。

被害者支援は、優れて「いのち」と深く関わる働きです。今日のあらゆる出来事（政治的、経済的、社会的、教育的、個人的人間関係—等）が「いのち」を軽んじる流れの中にあることをわたしたちは肌で感じています。

犯罪の背後には多くの場合、自分の「いのち—存在」が認められない、侵害されていることに対する怒りがあるように感じられます。すなわち、共感されていない自分、認められていない、ディスカウント（値引き）されている自分への復讐行為としての犯罪が透けて見えます。

青森少年院での10年間の授業とカウンセリングを通し、彼らの心の中に、「自分なんかどうでもいい存在だ」という闇が、心の中に自分を否定し、蝕むように広がっているのが感じられ、たじろいってしまうほどの巨大な暗黒との出会いの時でもありました。そこにはいつも影のようにへばりついている、「自己肯定感の欠如」を感じないではいられませんでした。

「いのちの電話」への相談も、自分自身への否定的感情が相談の背後にわだかまっているのを感じる事がたくさんあります。「自己肯定感」の回復は、掛け替えのない「いのち」を回復する道筋のように思います。

「被害者支援」の働きを通し、今更のように心にかかるのは、「犯罪加害者」の人権には比較的配慮されるようになってきましたが、「被害者や遺族」に対しては、全てにおいて配慮が不十分であり、整備されず残された問題はたくさん存在することを付け加えておく必要があります。ここにも被害者支援の今一つの大きな課題があるといえます。

「愛する者たちを語るということは、彼らが生きたのは（そして……苦しんだのは）《無駄ではなかった》ことを証言することです。」（ロラン・バルト）という言葉に出会いました。わたしたちが「被害者」と出会うということは、「聴く」こと、語られたその方の心内にあるすべての「出来事」を、ありのままに受け入れることのように思います。被害者支援の働きにおいても、「受容」としての「傾聴」が大切なのは、「裁かれていない、大切な自分」と出会っていただくためであり、「自己肯定感」を取り戻していただくためです。「彼らが生きたのは、そして、わたしが生きているのは《無駄ではない》」ことを共にするためです。ここに、被害者支援の原点があるように思います。

犯罪被害に関わることは、この世界と社会に関わることであり、自分と他者と、存在の深みにおいて関わることです。「共に生きる」時を切り開くことができる働きなのです。

センターの働きを担ってくださる方々、支援してくださるすべての方々に心から感謝いたします。尊い「いのち」を共に生きるために、想像力—共感を生きる痛み—を豊かに育みつつ、与えられた「今、この時」に、自分と他者との出会いに、小さなことに大きな愛を込める日々でありたいと願い祈っています。

平成 27 年度の活動報告

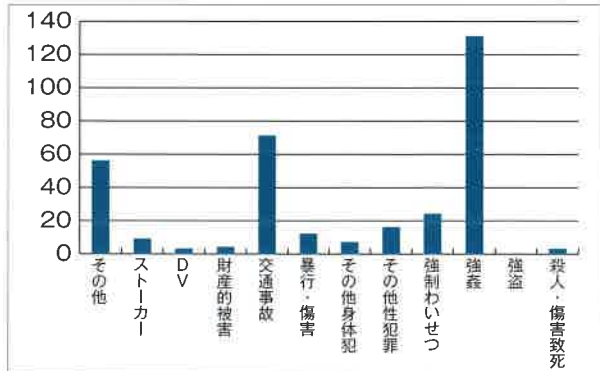
平成 28 年度総会を開催

本年度第 1 回定時総会が 5 月 25 日、県民福祉プラザで開催されました。県警本部警務部教養課長 齊藤 淳 氏、県環境生活部県民生活文化課副参事 佐藤 文徳 氏を招き、平成 27 年度事業報告と収支決算報告が了承されました。

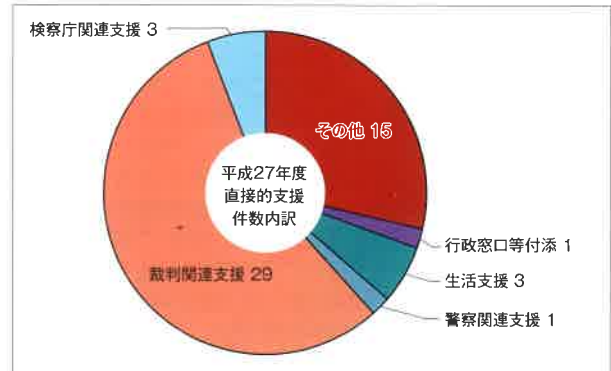


尚、本年 3 月 23 日の総会では、平成 28 年度事業計画、収支予算案が了承されています。

平成 27 年度相談件数内訳



平成 27 年度直接的支援件数内訳



平成 27 年度決算及び平成 28 年度予算

(単位：円)

	科 目	平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
収 益	受取会費	3,127,000	3,500,000
	受取自治体助成金	2,000,000	2,000,000
	受取その他助成金	4,226,000	5,600,000
	受取寄付金	1,470,062	1,500,000
	受取委託金	4,474,000	4,000,000
	受取利息その他	30,593	1,000
経 常 収 益 合 計		15,327,655	16,601,000
費 用	事業費		
	人件費	5,001,139	4,234,000
	相談活動費	1,390,172	1,280,000
	直接支援活動費	253,314	420,000
	広報啓発活動費	2,499,471	4,085,000
	相談員養成・研修費	883,679	1,006,000
	調査・研究活動費	164,986	185,000
	自助グループ支援費	221,825	325,000
	その他事業費	1,518,564	1,610,000
	事業費 計	11,933,150	13,145,000
	管理費		
	人件費	2,143,346	1,806,000
	その他管理費	1,539,987	1,650,000
	管理費 計	3,683,333	3,456,000
経 常 費 用 合 計		15,616,483	16,601,000
当 期 経 常 増 減 額		-288,828	0
正味財産期首残高		1,513,278	1,224,450
正味財産期末残高		1,224,450	1,224,450

相談事業

平成 27 年度の相談業務総数は 336 件で前年度より 65 件増えています。特に性暴力被害相談の増加が見られ、カウンセリング相談や面接相談へ進むケースがありました。

<相談業務総数 336 件の内訳>

- ・電話相談受理件数 292 件
- ・面接相談受理件数 29 件
- ・法律相談受理件数 5 件
- ・カウンセリング相談受理件数 10 件

<相談室から>

社会には情報があふれ、ツイッターやソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) が利用でき、とくに若者の友人関係は深まりやすいようです。反面、社会問題も起きていて、それに類する相談もあります。

相談員は、気持ちを集中させ、性暴力被害やそのような問題に対する支援のスキルを持っていかなければならないと感じています。

■命の大切さを学ぶ教室 ～遺族講演～

- 山内久子氏による講演が11月13日、県立青森保健大学の福祉学科で行われ、その感想の一部を掲載させていただきました。
- 加害者の権利が守られるような体制がとられているならば、被害者や遺族の権利が守られるような体制を整備していくことが求められるのではないかと。
 - 犯罪はいつどこで起こるかかわからない、もしかしたら自分の周りにも被害者やその家族がいるかもしれない。そのように考え、自分の発言で相手を傷つけてしまっているのではないかと考えた。相手を思う気持ちがあるなら、発言や行動に気を配っていけるように意識していきたい。
 - 更生保護を学ぶにあたって、加害者の数だけ被害者が、被害者の数だけその家族がいるということです。更生保護も重要だが、“被害者視点”も欠けることがないように望む。

●警察庁主催 第5回

●「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」受賞

- 2015年「命の大切さを学ぶ教室」作文コンクール金賞受賞者の二人が全国大会へ進み、本年2月6日、県立八戸高2年の小川青夏さんが警察庁長官賞を、八戸市立下長中3年の矢田智裕さんが犯罪被害者支援室長賞を受け、本県代表者は前年度に続く受賞となりました。

■広報啓発活動



青森カダールフェスタ



110番の日



犯罪被害者週間

*会場で、センターリーフレット、チラシ、ポケットティッシュ等を配布しました

■キャンペーン等の実施

- ・「ボランティア市民活動フェスティバル」： 八戸市 10月4日
- ・「犯罪被害者週間」： 青森市 11月25日、12月1日
- ・「110番の日」： 青森サンロード 1月10日
- ・「青森カダールフェスタ」： 青森市 1月24・27・30日
- ・「市民活動団体パネル展」： 八戸市 2月8～3月7日

■犯罪被害者週間キャンペーン

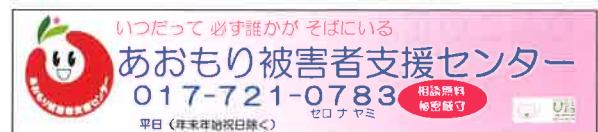
この期間に合わせて、イオン青森店前で募金活動を行った。この週間を初めて耳にする方が多かったが、身近な青森にも被害者が多くいることを知って、寒い中、足を止めて協力して下さった。被害者に心を寄せて頂いたことに感謝しつつ、被害者支援に頑張ろうと思った。

■青森市営バス車体広告



4月から10台、5月から2台が加わり、車体広告バス12台が一年間運行します。

■青い森鉄道車体広告



7月11日より、一年間運行します。

皆様のご支援、ご協力をこころより感謝申し上げます
ご厚意は大切に活用させていただきます (平成27年度)

賛助会員 (法人・団体) 会員 (敬称略・順不同)

青森地区

青森朝日放送(株)
(公社)青森観光コンベンション協会
在日大韓国民団
(株)青森銀行
(一社)青森県安全運転管理者協会
(公社)青森県医師会
(公社)青森県看護協会
青森県警察本部捜査第一課互助会一同
(一財)青森県交通安全協会 青森交通安全協会
青森県交通安全母の会連合会
(一社)青森県指定自動車教習所協会
青森県自動車車体整備協同組合
(一社)青森県自動車整備振興会
青森県自動車整備青森協議会
青森県トラック協会青森支部
(公社)青森県バス協会
青森県遊技業協同組合
(社福)青森市社会福祉協議会
青森総合警備保障(株)
青森地区公益事業連絡協議会
(株)青森テレビ
青森マツダ自動車(株)
青森南警察官友の会
青森ワシントンホテル
(有)アメリロード
(有)石田自動車
いすゞ自動車東北(株)
栄作堂本店
(株)鳳志興業
(株)カネマツ 青森支店
北方商事(株)
(株)国際ホテル
(株)小鹿産業
(株)サンエイ
産経新聞社 青森支局
(有)青陽
タイトードリンク機東北第二営業部
(株)たいよう共済青森支店
尚東邦商会 パチンココスモ 青松慶一
東洋建物管理(株)
(社福)特設福祉センターおきたて

石 銘 地 番 橋
東日本電信電話(株) 青森支店
(株)ヒグチ
平内地区交通安全協会
藤林電気(株)
ブリヂストンタイヤジャパン(株)
(株)北大青森店
ホテル青森
みちのくキャンティーン(株)
(株)みちのく銀行総務部
ヤマト運輸(株)青森主管支店
サトウモーター(有)
ワタナベサービス(株)

弘南地区

(一財)愛成会弘前愛成会病院
(株)朝日会館
アップルウェブ(株)
NPO法人 あいねっと
(株)キング
黒石警察署 総務課
黒石地区交通安全協会
猿賀神社
津軽警備保障(株)
(株)津軽新報社
東奥信用金庫
(株)原田ベンディングサービス
弘前ガス(株)
弘前警察官友の会
弘前交通安全協会
(一社)弘前自動車協会
弘前商工会議所
弘前地区安全運転管理者協会
弘前地区安全運転管理事業主会
弘前露店商業組合
(医法)松医会 松尾病院
(有)マル五衛生社
(株)ミナミクラブオーデル駅前店
(株)ミナミクラブ 南幸三
(株)ムジコ・クリエイト

西北五地区

板柳警察友の会

板柳地区安全運転管理事業主会
板柳地区安全運転管理者協会
(株)伊藤 鋳 業
(有)稲垣 整備 工業
(医法) 敬生会 越前胃腸科外科医院
齋 勝 建設(株)
(株)斉藤 運輸
(有)斎藤 新聞 店
(社福)一真会さくら保育園
(株)サン・コーポレーション
つがる警察官友の会 事務局
つがる地区交通安全協会
みちのく建物管理(株)
渡部胃腸科内科 渡部 司

三八上北地区

青森県自動車整備三沢協議会
石田歯科医院 石田 修一
/石田三沢 桜一アボドワ様此誌誌
(社福)木崎野福祉会 おおぞら保育園
(株)御菓子のみやきん
(有)尾形 精肉 店
(株)金入
(医法)弘仁会 於本病院
古川歯科医院(古川 明)
五戸警察友の会
五戸ライオンズクラブ
三戸警察官友の会
七戸警察友の会
七戸地区安全運転管理者協会
七戸地区安全運転管理事業主会
七戸町防犯協会
下田タウン(株)
太子食品工業(株)
(有)高橋電子製作所
田中建設(株)
(社福)長老会(特養)長老園
(株)デーリー東北新聞社
(株)東北企画
(株)十和田中央モーターズスクール
日本原燃(株)
(株)ニューテック
野辺地警察友の会

野辺地地区安全運転管理者協会
野辺地地区安全運転管理事業主会
橋本電気工業(株)
八戸警察友の会
(一社)八戸自動車協会
八戸地区交通安全協会
(株)八戸電工
八戸ライセンススクール
(一財)八戸陸運賛助会
(株)八田神仏具店
三沢警察友の会
三沢市商工会
三沢地区安全運転管理事業主会
三沢地区自動車協会
(株)みどり
(株)三村興業社
三八五オートスクール(株)
三八五交通(株)
むつ小川原石油備蓄(株)
(株)山村 総本店
(株)ユニバース
六ヶ所原燃警備(株)

下北地区

協同印刷工業(株)
むつ警察友の会
むつ地区安全運転管理者協会
むつ地区安全運転管理事業主会
(株)むつレミコン
米沢ガス興業(株)
リサイクル燃料貯蔵(株)

外ヶ浜地区

外ヶ浜警察友の会
外ヶ浜地区防犯協会

岩手県

(株)アキヤマ

東京都

(社福)東京愛成会

賛助会員 (個人) 会員

(敬称略・順不同)

相 坂 幸 央
赤 坂 敏 子
安 達 保 行
阿 内 保 子
天 保 内 修
五 十 嵐 文 明
池 田 英 俊
石 井 淳夫(石井医院)
石 井 豊 子
石 田 勝 道 夫
石 塚 雄 毅
市 川 智 之

一 戸 達
一 戸 藤 子
伊 今 藤 正
伊 丸 井 志
伊 岩 岡 高
岩 浦 岡 博
江 浦 岡 友
江 蛭 友 志
太 太 友 志
大 大 友 志
大 大 友 志

大 水 ち づ 子
大 村 清 志
小 笠 修 平
小 笠 原 幹 夫
小 川 川 毅 直
小 山 山 毅 一
小 沖 澤 誠 厚
小 倉 倉 信 人
小 山 内 正 潤
小 田 田 祐 介
小 田 桐 勝 行
小 田 桐 雄 一
小 野 野 郁 男

角 田 哲 治
加 藤 拓
加 藤 徹
金 藤 雄
加 村 忠
金 福 善
加 石 善
金 龜 達
北 木 川 照
木 木 村 武
木 村 敏
工 藤 八
工 藤 重

皆様のご支援、ご協力をこころより感謝申し上げます
ご厚意は大切に活用させていただきます

賛助会員 (個人) 会員

(敬称略・順不同)

工熊倉川今近今齊齊坂櫻佐佐佐島下白菅杉鈴須砂相其其高	藤澤内口 藤 藤藤本田木藤藤田山濱濱沼山木田田馬田田橋	孝志博一三宏宏光子雄高明昭眞平子志守夫肇夫郎裕治一恵直	高高高竹竹立田田玉寺寺東兎飛若富豊中長中中永七奈奈奈	橋橋森内本石中端熊嶋田田海内澤地岡島嶋村村山田岡良良	克浩正 尚 和寿一政謙富正佐新 拓美和裕雅義勝 淳め元	郎幸志寛之亘芳弥仁彦一夫友子也満身子郎康人弘弘孝志み樹	成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	貞 俊博裕壽信 健真尚雅有将義清 昭彰幹正憲真睦岳正	子晋孝文之人治存一琴美人朋士之志勲学人華彦雄正也久樹春	間三三三三三三三南村最森盛柳柳山山山山山山山山山山山山山	山浦上上谷 岡上川田井谷内形口崎田本本田田田田田田田	奈昭公義輝尚弘知生正敏麻次民恵紀俊一 卓光 由 7	津 子子子行彦志子之一一文字義雄子一廣雄覺巧良稔江名
----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	----------------------------	---------------------------	----------------------------

寄付 (法人、団体、個人)

(敬称略・順不同)

五十嵐 文章 明子 田村悦夫 市北のグルメ 青森県警察本部広報課 青森県警察署警備課 青森県警察署 青森県警察署	五亦 文章 明子 田村悦夫 市北のグルメ 青森県警察本部広報課 青森県警察署警備課 青森県警察署 青森県警察署
--	---

支援自動販売機を置いていただきありがとうございます

支援自動販売機設置 (法人、団体)

(敬称略・順不同)

児童養護施設弘前愛成園 東日本不動産 パール A 館	八戸警察署 八戸警察署 八戸警察署 八戸警察署 八戸警察署 八戸警察署	弘前警察署 弘前警察署 弘前警察署 弘前警察署 弘前警察署 弘前警察署
----------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

27年度下半期研修会報告

* 定期研修会 ～支援のスキル向上がスローガン～

- ・ 10月26日 「被害者の心理」
- ・ 11月18日 「性犯罪被害者支援の実務」
- ・ 12月11日 「DV加害者が変わることでそれが一番の被害者支援」
- ・ 12月16日 「犯罪・交通事故被害者遺族のつどい」の実際
- ・ 1月20日 「性的侵害と暴力 ～社会的予防とは何か～」
- ・ 2月24日 「精神科の疾患について」

* 県外研修

- ・ ～いつでも、どこでも、支援を受けられる社会を一緒に。～
- ・ 10月3日～4日
「秋期全国研修会」・・・東京都 4人参加
- ・ 10月19日～21日
「課題研修」(上級)・・・大阪府 1人参加
- ・ 10月29日～30日
「北海道・東北ブロック研修会」・・・秋田県 5人参加
- ・ 12月7日～8日
「自助グループ運営・連絡会議」・・・東京都 2人参加

* 支援活動員養成講座 * ・ 6期生は11回実施し10名が受講中 ・ 7期生が6月より受講開始予定

ご支援ありがとうございます

犯罪被害に遭われた方々の支援に活用させていただきます
引き続きご支援を宜しくお願い致します

♥ホンデリング～本でひろがる支援の輪～

読み終えた本を寄贈していただいた総数が3,367冊、そのうち買取りされた586冊が支援につながり寄付金額40,777円となりました。

♥イオン黄色いレシート

毎月11日に行われる“イオン幸せの黄色いレシート・キャンペーン”。昨年度はイオン青森店、マックスバリュ樋の口店(弘前市)で行われました。

投函レシート総額の1%が支援金となるもので、イオン青森店では22,100円、マックスバリュ樋の口店では19,300円のギフトカードをいただきました。当センターでは事務用品を購入しました。

賛助会員を募集しています

当支援センターは皆様の賛助会費や寄付金、助成金等によって運営されております。活動に賛同していただける賛助会員を募集しています。

- ・ 法人・団体 1口 10,000円 (何口でも可)
- ・ 個人 1口 3,000円 (何口でも可)
- ・ 寄付 金額の定めはありません

賛助会費や寄付金のお振り込み先

- 青森銀行 県庁支店 普通 1046100
- みちのく銀行 青森支店 普通 2026608
- 郵便局 口座記号番号 02210-6-133553
- 振込先名称 (社)あおもり被害者支援センター

事務局へご連絡ください。振込手数料のかからない指定振込用紙を送付いたします。

当センターへの寄付金は、公益法人に対する寄付として優遇税制が適用されます。

相談電話

犯罪や交通事故被害 **017-721-0783** ぜろなやみ

月・火・木・金 午前10時から午後5時まで (年末年始、祝日を除く)
水曜のみ 午前10時から午後8時30分まで

りんごの花ホットライン(性暴力被害) **017-777-8349** やさしく

無料・秘密厳守

月・水 午前10時から午後9時まで (年末年始、祝日を除く)
火・木・金 午前10時から午後5時まで

事務局

青森県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人あおもり被害者支援センター

〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階

TEL: 017-718-2085 FAX: 017-718-2098

URL <http://www.aomori-vs.com> E-mail info@aomori-vs.com